

令和5年度第2回名取市地域密着型サービス運営委員会 概要

- 日 時 令和6年2月6日(火) 午後1時45分～午後2時30分
- 場 所 名取市役所 議会棟3階第3・4委員会室
- 出席者 委 員 中鉢 登、藤 美和、郷内 徹、菅野 佳彦、宮地 智子、
田端 幸男
事務局 安倍部長、中山課長、佐藤課長補佐、遠藤主幹兼係長、小林主査
間島

- 概 要 ※ 詳細については、別紙のとおり

1. 開 会

2. あいさつ

田端会長より

3. 報告事項 ※別添資料に沿って事務局より説明

(1) 指定地域密着型サービス事業者の指定等について

(2) 指定地域密着型サービス事業者の運営指導の結果について

《質疑応答》

(1)について

(会 長) 更新指定した事業所のサービス提供内容に、施設内で収穫したものを昼食として提供とあるが、どのような目的で行われているのか。

(事務局) 自宅で過ごしているような環境に近づけたサービス提供の一環として行っている。

(委 員) 事業所の更新指定は実地で行わないのか。

(事務局) 原則書面で、人員配置等基準を満たしているか確認して指定を行っている。

(2)について

- (委員) 所見の項目に良いところのみの記載しかないが、設備等に不備はなかったのか。
- (事務局) 不備は見られなかった。清掃や危機管理に関しての配慮が特に行き届いていた。
- (委員) 重要事項説明書の文言の不備はどういったものなのか。
- (事務局) 報酬関係の記載に一部抜けている文言があった。重大な不備ではないため、口頭での訂正依頼を行った。
- (委員) グループホームでの苦情報告の体制はどのように整備されているのか。利用者本人が報告することは難しいと考えられるが、その際の対応は決められているのか。
- (事務局) 今回指導を行ったグループホームでは、施設入り口に意見箱を設置しており、併せて家族からも電話連絡等で苦情を受け付けられるよう整備している。
- (会長) 施設の人員配置はどのように確認しているのか。
- (事務局) 提出される勤務表や、資格証の写しで確認している。
- (会長) 運営指導のローテーションはどのように決められているのか
- (事務局) 指定期間に少なくとも1回は運営指導を行うように計画を立てている。また、宿泊を伴う施設に関しては3年に1回の目安で計画を立てている。
- (会長) グループホームの入所にあたって、認知症であることを医師の診断をもって判断するのか、ケアマネージャー等の確認で判断するものかどちらで行っているのか。
- (事務局) 原則は医師の診断書をもって入所可能かを判断している。
- (会長) 今回指導を行った施設の経営状況はどのようになっているのか。
- (事務局) 今回行った運営指導では、サービスの質の確保を主な目的としており、経営状況の確認に関しては指導の対象外としている。

(委員) 指示事項の中に事故報告書の提出があるが、提出されなかった報告書の事故内容はこういったものか。

(事務局) 誤薬に関する内容であった。内部で事故に関する検討があったとの報告を受けているが、市に事故の第1報と報告書の提出が必要である旨の指示を行った。

4. その他 ※事務局より説明

- ・今後の予定について

委員の任期は令和6年3月までであるが、委員会の開催は今回で終了予定。

5. 閉会